

科目名	特許法・法学		英文表記	Intellectual properties and Laws		平成26年2月22日			
科目コード	5008								
教員名: 大久保 秀人 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態		
全学科			5年	選	履修	1単位	講義		
科目目標		特許法を中心として、知的財産関連法の法目的、保護対象、主要条文の趣旨を理解し、企業活動等で生まれる新規なアイデアやデザイン等の成果物をどのようにして保護したらよいか、そのための手続についての基本的知識を身につける。							
総合評価		中間試験40%、期末試験40%、演習(レポート)20%で評価し、全体で60点以上を合格とする。							
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック					
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック		
	40%	① 知的財産権法の趣旨及び概要を理解し、社会で起きている知的財産権に関する事件について、どんな知的財産権が問題になっているか理解できること(機C-1,C-2, 情A-1,C-2, M-C-2, 生C-1)	知的財産権法の趣旨及び概要を正しく説明し、事例において問題となっている知的財産権を摘示できるかを、定期試験および講義での小テストで評価する。	知的財産権法の趣旨及び概要を正しく説明し、事例において問題となっている知的財産権を摘示できる。	知的財産権法の趣旨及び概要を正しく説明できる。	知的財産権法の趣旨及び概要を説明できる。			
	30%	② 知的財産権の保護対象、登録要件を理解できること。(機C-1,C-2, 情A-1,C-2, M-C-2, 生C-1)	知的財産権の保護対象、登録要件を正しく説明し、登録性について判断できるかを、定期試験および事例問題において、問題の所在及び争点を正しく摘示し、知的財産権の利用または活用について目	知的財産権の保護対象、登録要件を正しく説明し、登録性について判断できる。	知的財産権の保護対象、登録要件を正しく説明できる。	知的財産権の保護対象、登録要件を説明できる。			
	30%	③ 事例問題において、問題の所在及び争点を正しく摘示し、知的財産権の利用または活用について見解を述べることができること。(機C-1,C-2, 情A-1,C-2, M-C-2, 生C-1)	事例問題において、問題の所在及び争点を正しく摘示し、知的財産権の利用または活用について見	事例問題において、問題の所在及び争点を正しく摘示し、知的財産権の利用または活用について見	事例問題において、問題の所在及び争点を正しく摘示できる。	事例問題において、問題の所在及び争点を摘示できる。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
		○		◎	JABEEプログラム教育目標	C-1,C-2	A-1,C-2	C-2	C-1
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目			80	0	20	0	100		
基礎的理解		①②③	50		10		60		
応用力(実践・専門・融合)		②③	30		10		40		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)							0		
主体的・継続的学修意欲							0		
授業概要、方針、履修上の注意		知的財産権法の趣旨、概要を説明する。特に、産業財産権については、保護対象及び登録要件を説明する。そのうえで、事例問題において、問題の所在及び争点を正しく理解し、知的財産権の利用または活用について考えることができるようにする。 なお、関連する条文については、特許庁ホームページで閲覧可能な産業財産権法逐条解説を参照すること。							

教科書・
教材

工業所有権法(産業財産権法)逐条解説(特許庁ホームページ)

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	知的財産権	2	知的財産権の概要説明		
17	知的財産権	2	ドラマの仮想事例をもとに知的財産権の活用を考える①		
18	知的財産権	2	ドラマの仮想事例をもとに知的財産権の活用を考える②		
19	知的財産権	2	ドラマの仮想事例をもとに知的財産権の活用を考える③		
20	知的財産権	2	ドラマの仮想事例をもとに知的財産権の活用を考える④		
21	知的財産権	2	ドラマの仮想事例をもとに知的財産権の活用を考える⑤		
22	知的財産権	2	知的財産権の保護対象、登録要件		
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
24	特許法	2	発明の保護、職務発明、ジェネリック医薬品		
25	意匠法と不正競争防止法	2	デザイン保護法		
26	商標法と不正競争防止法	2	ブランド保護法		
27	著作権法	2	著作権法の保護対象と保護要件①		
28	著作権法	2	著作権法の保護対象と保護要件②		
29	著作権法	2	事例問題における著作権の争点		
30	産業財産権まとめ	2	産業財産権法の復習		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は技術者倫理(5年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)